

最近「ブクタン」とびだす いないいないばーがお気に入りです。で、私たちが読むと「うんうん」とうなずいたり、声を出してケラケラ笑っています。

これからもたくさん絵本に触れ、絵本が大好きになってもらいたいと思います。

菅野悠吾くんのお母さん  
菅野さゆりさん

悠吾が初めて触れた絵本は、音や歌の鳴る絵本でした。また自分では絵本を持つことができない小さな悠吾でしたが、絵本から音や歌が鳴るたびに目をキラキラさせて見ていました。そんな小さかった悠吾が少しずつ自分で絵本を持ち、音の鳴るボタンを押してみたり、ページをめくって絵本を見たりと自分なりの楽しみ方を発見していき、成長を感じています。

「プチハウスの子どもたちは、絵本が大好きです。園でもお家でも子どもたちには大好きな絵本があるようです。当園では毎月絵本日より発行しています。その中で保護者の方にお家での絵本について書いていただいたコメントよりご紹介します。」



「プチハウスの子どもたちは、絵本が大好きです。園でもお家でも子どもたちには大好きな絵本があるようです。当園では毎月絵本日より発行しています。その中で保護者の方にお家での絵本について書いていただいたコメントよりご紹介します。」

# ぶちたまご

第4号

平成27年2月

社会福祉法人  
米沢仏教興道会

プチハウス

米沢市徳町1-38-1  
TEL 0238-26-6565

## あかちゃん組



「み〜つけた」

「〇〇ちゃんみ〜つけた」最近はお友だちとのあそびが楽しくなってきた、一緒にあそぶ姿が多く見られます。

## とことこ組



「ありの〜まの〜月」

一人で歌うのはちょっと恥ずかしいけれど、お友だちと一緒に歌うと、たのしい!

## てくてく組



「大きいとうもろこし」

自分たちでおいたとうもろこしを一本そのまま食べました。「友だちと一緒に食べると、うれしいな。おいしいな。」

## えくぼ組



「ノウさんここかな? キリンさんは?」

うまく形に入らないけれど、一緒にすることを楽しんでいます。

## わくわくおもちゃ

子どもたちの興味や育ちに合わせて、手作りおもちゃを作っています。ぬくもりのある手作りおもちゃで喜んであそぶ子どもたち。手作りおもちゃであそぶ子どもたちのキラキラとした笑顔を見られることが楽しみです。

### くえくぼ組

外に行こうと靴を用意すると、靴のマジックテープをはがしたり、貼ろうとする姿がありました。思うようにできない子どもたち。そこで靴の形にマジックテープをつけた玩具をつくり、床に動かないように貼り付けしたところ、マジックテープをはがしたりくっつけたりして楽しんでいます。

外あそびの後にマジックテープをはがして靴を脱ごうとする姿が多く見られるようになりました。



### とことこ組

「お出かけかばん」

子どもの手で物を入れやすいように間口が開く、「ままごとかばん」を作りました。好みの絵本や美味しいものをたくさん入れ、腕に抱えては「行ってきま〜す」「おかえり」と行ったり来たりを繰り返して楽しんでいます。



## 編集後記

プチハウスの子どもたちは友だちと一緒に仲良くあそんだり、時には喧嘩したり元気に過ごしています。その中で「お散歩に行ってきた〜」と子どもたちの向かう先は、プチハウスに隣接する「総合運動公園」です。まるで第二の園庭のように、春夏秋冬子どもたちの元気を受け止めてくれる場所です。今回はこの公園であそぶ様子をお届けしました。

これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら、一人ひとりの元気や育ちを温かく見守っていききたいと思います。  
(我妻 記)

みんないっしょ プチハウス 園長 山口 武揚

小さい子ども同士が笑いながらじゃれ合っている姿、何にも言わなくても通じ合う仲良しの子、皆となら何でもできてしまう子。子ども同士のやり取りを見ていると、「無邪気なやさしさ、あたたかさ、慈しみ」を感じることがたくさんあります。

子ども同士の関わりは、乳児から互いに関心を示し、その後も成長にしたがい友だちへの関心はどんどん高まり、互いに影響し合いながら育っていきます。時には、喧嘩も起きます。そこから、自己主張することや、我慢すること、感情をコントロールすることを学び、徐々に社会性や道徳性が芽生え、「生きる力」が育まれていくのではないのでしょうか。

楽しいことも、辛いことも『みんないっしょ』に分かち合いたいものです。



# 外あそび大好き!!

外あそびは子どもたちにとって、大好きなあそびのひとつです。心身の開放感があり、自然物との触れ合いを楽しみ好奇心が芽生え、感性が豊かになってきます。季節の移りかわりを感じながら、体を思いっきり動かして元気いっぱいにあそぶ子どもたちです。ブチハウス正面の東側にある、米沢市の総合運動公園であそぶ子どもたちの元気な姿をお楽しみください。

## えくぼ組 (0・1歳児)



### 「はつぱみつけた」 松ぼっくり広場

一人で歩くことが上手になってきた子どもたちは周りを見る余裕が出てきます。散歩中の犬に会うと「わんわーん」と声を掛けたり、足元のアソを見つけてはつかもうとしたり落ち葉を見つけて楽しんだりといろいろな発見をしています。



### 「かけっこ かけっこ」 石だたみ広場

石だたみ広場に行くとき「かけっこしよう」と保育者を誘い、自分で「ヨーイ ドン」のかけ声をかけ、かけっこが始まります。一人が走るといつのまにかみんな何度かかけっこ。疲れ知らずでてくてく組の子どもたちです。

## てくてく組 (2歳児)

### 「山の上から すーいすい」 山すべり広場

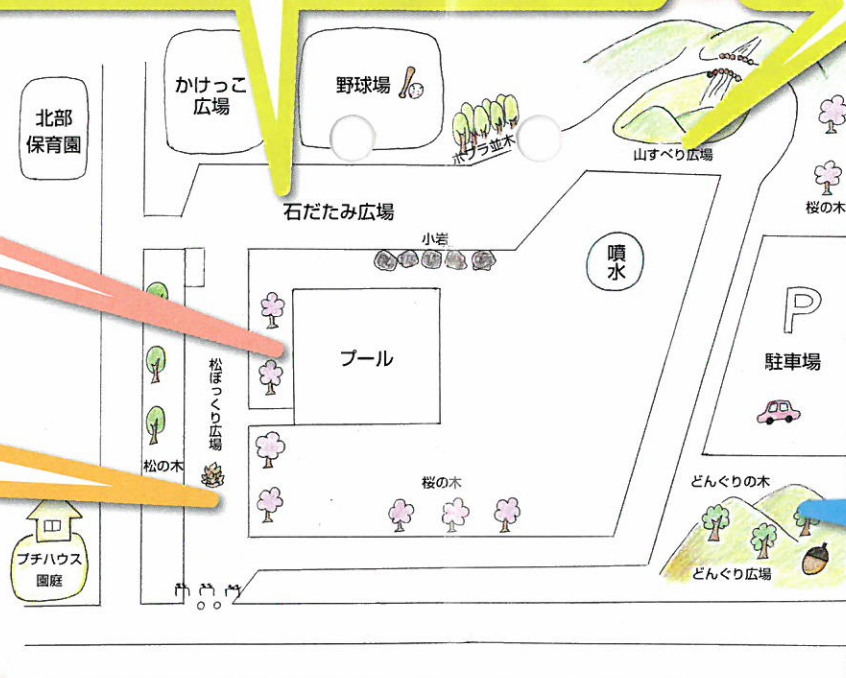
山すべり広場に行くときは、園から小さいそりを持って出かけます。初めてすべる時は、「押して」「して〜」という声が聞かれましたが、何度か経験することで上体を後ろにそらしスピードを出してすべることもできるようになっています。



## 赤ちゃん組 (0歳児)

### 「ほくのかけ まで〜」 松ぼっくり広場

バギーに乗って散歩でかけ、松ぼっくり広場でシートを敷いて外気浴をしています。ハイハイが上手になってきたお友だちが、自分の影と追いかけて楽しんでいます。



## とことこ組 (1歳児)



### 「みんな大好き」 どんぐり広場

春夏はきれいな花が咲き、秋にはどんぐりや落ち葉がいっぱいです。自由に歩いたり、走ったり、落ち葉のベットに入り感触や秋の香りを楽しんでいます。



# ひとりできるかな

赤ちゃんの頃は、保育者のかかわりを通して気持ちよさを感じています。さまざまな経験をする中で、手を握ったり指先でつまんだりできるようになり、自分でやってみようという気持ちが育ってきます。簡単な身の回りのことを「自分で」と言ってチャレンジしている子どもたち。うまくできなくても、やろうとする気持ちを大切に、さりげなく手伝いながら次への意欲につながるようにしています。

## 赤ちゃん組 (0歳児)



### 「気持ちいいな〜」

着替えも保育者との触れ合いのひとつです。保育者の話しかけに目と目を合わせたり気持ちよさそうに声を出して、うれしさと気持ちよさを感じています。

## えくぼ組 (0・1歳児)

### 「はけたよ はけたよ」

スポンを持って足を入れ「よいしょよいしょ」とスポンから足が出るように引っ張っています。おしりのほうを上げることができないこともあります。一人でできたという気持ちが芽生えています。



## とことこ組 (1歳児)

### 「う〜んしょ! 靴下はけたよ」

指先が器用になってきた子どもたち。靴下の履き口を指で大きく広げながら足を入れようとする姿が見られます。うまく履けない時には、保育者とかかわりながら履いています。



## てくてく組 (2歳児)

### 「自分でできるよ」

「ん〜、よいしょ!」自分で衣服の着脱ができるようになり、パジャマの着替えを意欲的に行っています。自分で置んだりボタンかけができる子も増えました。一人ひとりに合わせて自分でできた満足感を味わっています。

